

## 区長と話そう、聞いてみよう **すぎなミーティング**

**テーマ「魅力ある公園づくり」、  
～多世代が気持ちよく利用できる公園とするために～**

**令和元年8月31日(土)**

区では、日頃区政との接点が少ない区民の方々を含め、幅広い区民の方から、区の抱える行政課題についてのご意見を区長が直接伺う、「区長と話そう、聞いてみよう すぎなミーティング」を実施しています。今回は、魅力ある公園づくりについて、「公園区」という区の考え方を交えて話し合いました。

### ◇杉並区の公園について

### 区長から一言

#### ●公園には多様なニーズがある



「公園」は、大きい公園から児童遊園のような小さい公園までいろいろあり、立地環境も異なります。昔は滑り台と砂場とブランコが公園の遊具の三種の神器と言われたそうですが、今はそういったものを設置しておけばいいという時代ではなくなりました。公園によっては、朝のラジオ体操や早朝のウォーキングなどが高齢者の方々を中心に行われています。太極拳やペタンクといったスポーツが行われているところもあります。また、午前中は保育園の子どもたちが、午後には小学生たちが遊んでいる光景もたくさん見られます。ほかにも散歩や友だち同士の語らいなど、様々な人たちが、様々な時間帯で利用しています。

#### ●公園区という考え方

このように、公園の利用方法は多様となってきたことから、区では「多世代が利用できる公園づくり基本方針」を策定しました。この基本方針では、一定の区域を「公園区」とし、区域の中の公園を、様々な利用が可能な拠点となる公園と、幼児の使い勝手のいい公園、小学生が活発に遊びやすい公園、高齢者の人たちが親しめるような公園など、公園ごとに役割、機能を持たせ、それに応じた遊具や設備のあり方等を検討していくこととしています。具体化する際には、その地

域に住んでいる方のいろいろアイデアやヒントをいただく場を設けていきたいと思っています。

#### ●地域の状況

杉並は4つの町が合併してできました。旧井荻町は道路整備がしっかりしている地域ですが、一方で、道路が狭く、建物が密集している地域もあります。また、神田川、善福寺川、妙正寺川が流れており、井草川や桃園川は暗渠になっています。必ずしも画一的でない地域特性の中で、公園を整備してきたといえます。大きな公園としては、都立の善福寺公園、善福寺川緑地、和田堀公園があります。区立では、柏の宮公園、妙正寺公園、そして東京電力のグラウンドの跡に下高井戸おおぞら公園を一部開園しています。また、現在、東京都が高井戸公園という広大な公園を整備していますが、隣接する富士見丘中学校との一体整備を進めています。国の払い下げ用地を活用した蚕糸の森公園、井草森公園、馬橋公園などもあります。こういった公園が「公園区」の核となり、その周辺に衛星的に身近な公園が配置されるように公園整備を進めていきます。



## ◇みどり公園課長から 「杉並区の公園づくりに関する説明」

## ●杉並区の公園の現状

杉並区には公園が 327 カ所あり、23 区の中でも多い区となっています。昭和 12 年に最初の公園として荻窪公園が開園し、その後も着実に整備を重ね、平成 30 年度末には、公園の総面積が約 118 ヘクタールと、



東京ドーム約 25 個分になりました。

区の面積に対する公園面積の割合は約 3.5%で、区民1人当たり約 2.07 m<sup>2</sup>となっ

ています。区の目標は1人当たり 5 m<sup>2</sup>ですから、まだまだ十分とは言えません。また、開園から 30 年以上経過した公園がすでに 6 割を超え、公園の老朽化が進んでいます。公園にあるさまざまな施設も、開園当時の基準のまま残っているところが多く、今の基準に合わなくなってきています。例えば和式トイレはしゃがむことが大変な人には使いづらく、車いすでは使えません。また、新たに遊具を設置する際にも、例えば、ブランコの座板から地面までの距離や各遊具の間隔はどれくらい離れてなければいけないといった安全基準が決められています。

また、公園の使い方についても、走り回れる公園がいいとか、ボール遊びがしたいなどの希望があり、これも保育園児と小学生とでも違ってきますし、高齢の方からは、散歩中に休む場所がほしいとか、いろいろな健康遊具で運動したいなど、区民の皆さんのニーズが多様化しています。

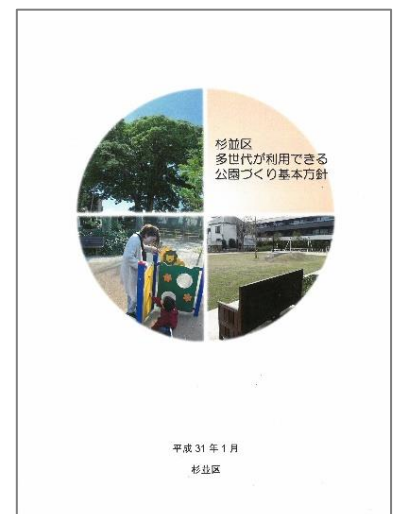
## ●先を見据えた取組

こうしたことを踏まえ、公園の質の向上を図ることを目指して、昨年度「多世代が利用できる公園づくり基本方針」を策定しました。この基本方針では、年間

約 800 件いただく意見や要望などから、ニーズを大きく 8 つに分類しました。多目的に利用できるオープンスペース、サッカーや野球などの球戯ができる場、幼児が遊べる場、児童が遊べる場、健康増進に寄与できる場、休息できる場、緑に触れあえる環境教育の場や動植物の生息等に適した場というものです。

## ●公園区とは

各公園の面積の状況を見ますと、3,000 m<sup>2</sup>未満の公園が区立公園の 9 割を占め、さらにテニスコート 2 面分よりも小さい公園が 4 割となっています。杉並区の公園は、数が多いが、小さい公園が多く、1つの公園の中にいろいろな役割・機能を持たせることはなかなか難しいということになります。そこで、一定のエリアを定め、その中にある公園それぞれが役割分担をして、皆さんのニーズに応えていこうというのが「公園区」の考え方です。例えば、あるエリアには、ひと休みできる公園が1つ、小学生向けの遊具のあるような公園が4つというような状況では、バランスがよいとは言えません。そうした状況を見直し、公園区のエリア内では、中心にある程度広さを持った核としての公園を据え、いくつかの公園でバランスよくニーズを分担していくというものです。現在、一つの「公園区」でワークショップを行い、区民の皆さまからのご意見を伺っているところです。また、公園の賑わいの創出という観点から、桃井原っぱ公園と下高井戸おおぞら公園で、試行的にキッチンカーを出すなどの取り組みも進めています。



◇公園づくりに関してグループに分かれて考えました



小さい公園がたくさんあるってことは、アクセスしやすい公園がたくさんあるということだよ

良い公園、利用率が高い公園になればなるほど、やっぱりトイレを作ってほしいという要望が出てくるよ

トイレをバリアフリーのものに替えるっていう話があったけど、きれいな状態を保っていくことは大変じゃないかな

幼児の場合、あまり距離が遠くなると行けないので、家の近くにあるといいと思うよ



土地が寄付による場合には、やっぱり寄付者の思いというものがあるんでしょうね

防災面を考えると、ある程度広いスペースが必要かな

都立公園とその公園区の関係って、どうなるの？

すごく小さな公園でも、休めるようなスペースとして必要だと思う

公園区はきれいな円形だけど、地域の実情に応じて、ちょっと楕円にしたり、かたちを変えられるのかな



◇公園について、みなさんでアイデアを出し合いました。

●Aさん 公園区単位でみどり不足を解消

みどり不足を公園区という単位で解消していけたら、と思いました。全体的にやっぱりみどりが少ない気がしています。河川も暗渠にされていたり、みどりに触れ合えるところも特になく印象を持っていたのですが、皆さんとお話をする中で思いが一緒であることを感じました。

●Bさん みんなに愛される公園へ



どの公園に行っても、滑り台・鉄棒・砂場があって、それを囲むように椅子が配置されているという、どこも

同じような感じで、今の私たちのニーズにあっていないと思いました。世代、性別、海外の方など、それぞれに喜ばれる、みんなに愛される公園として、多様化していく必要があるとすごく実感しました。

●Cさん 公園区は大きな家

公園区というのは、大きな家みたいな感じなのかなと考えました。だから、ここは居間、ここはお風呂場のように、まち全体を自分の家のつもりで考えていたら面白いと思いました。いろんな公園があって、皆さんがそれぞれの目的に合わせて利用できるということが大事なのだと思います。



●Dさん 観光名所としての公園へ

杉並区にはすごくいい公園があります。善福寺公園

も、大田黒公園も、角川庭園も、荻外荘も観光名所として育てていけないかと思いました。また、小学校1年生の娘は、公園で遊んでいる時に、年上の子どもたちが来てボール遊びをすると、自分たちが追い出されるような形になってしまうので、予約制のようなことを取り入れてもらえるといい、と言っていました。

●Eさん 杉並区に住みたいと思える公園づくりを

皆さんのニーズに応えられるような公園づくりというのは、一つ一つ個性を持ち、あることに特化した公園がどんどん増えていくことだと思いました。それぞれ家族の状況や、世代が変われば、公園に対するニーズも変化してくると思います。杉並区に住みたいと思える公園づくりができたらと思いました。



●Fさん 公園の

名称を目的が分かるようにしては

公園の名称にその公園の設置目的を入れたらどうでしょうか。「子ども球戯公園」とか、「高齢者集まる公園」のようにすれば、この公園はこういう目的だから行ってみようかな、同じ目的を持った人たちがそこに集まってきて、コミュニティ形成や繋がりが増えていくのでは、と思いました。今日は、いろいろな世代の方々といろんな話をして、違いを受け入れることで、「あ、そういう意見もあるんだ」とすごく勉強になり、楽しめました。



### ●Gさん 特色ある公園があれば活用の活性化にも繋がるのでは

公園区という、それぞれの世代の要望に合わせた公園や、公園の役割分担という考え方はすごく新鮮だと感じました。普段から自分の都合にあった公園が近くにないと思っていましたが、この公園は小さな子どもを連れていったら楽しめるとか、この公園は高齢者の方が健康維持のために使える、というような特色が出てくれば、これまであまり使われていない公園も活かせるのではないかと、思いました。



### ●Hさん 地域の空き地は震災対策にも重要

杉並の公園はよく整備されていて、子どもたちが使うには、非常にいい公園なので感謝しています。小さな公園でも、地域に空き地があることはものすごく大切です。震災の後片づけでは、自分の家のものを外に出さなくてはいけなくなりますが、道路に出すと交通に支障が出るため、小さな公園をもっと増やしてほしいと考えています。また、地域には神社仏閣がありますが、東北の震災の際には、近くに公民館のような頑丈な施設がない



方たちはそうした場所に集まり、その後、小学校に移動していました。区内の神社仏閣と協定を結び、普段は地域のためにベンチを置き、必要な時には防災協力をお願いするなど、敷地を利用させていただきながら公園区とい

うのを考えていったらどうだろうか、と思いました。

### ●Iさん 核となる公園には土地の良さを

私は核となる公園のあり方について考えました。これまで、公園とは、広場や遊具があるなど一律的なものを考えていましたが、核となる公園は、その土地の良さを活かしたオリジナルな、みんなが利用できる場所にできたらいいと思いました。



### ●Jさん 公園づくりはソフト重視で

壮大な箱ものが必要というよりは、ベンチ1つでも、そこでちょっと休憩できたり、世代の違う人と会話をしたりというような機能が求められていると思います。駅前のスーパーのテラス席が、一つのコミュニティになっている



と思うので、そうしたソフト面が必要なのではないかと思いました。

### ●Kさん 公園の発展が楽しみ

私は、子育て中によく公園に行っていました。また、孫は、小さい頃は公園に行くと表情がとても明るく元気になりました。小学生になると、雨の日以外は、「宿題が終わったら公園に行って遊んでいい」とか「何時までには帰ってくる」というような約束ができるようになりました。これまでの公園でも十分満足でしたが、これから益々その良さが発展していくようで、すごく楽しみです。

## ◇最後に区長から



公園区構想を中身のある、住民のニーズに応えていくものにするためには、公園を増やして

とは原則としてできないこととなりますが、できるだけ公園を増やすこと、拡げていくことが必要であると、皆さまとお話しをさせていただいて改めて感じました。

トイレについては、公園を使う人たちの層、主な対象者にとってどのようなトイレが必要か、そして、トイレにかかるコストはどうあるべきか、ということが大きな課題です。コンビニに行けばトイレがあるのだから公園にトイレが無くてもいいのでは、というご意見もいただきますが、立地環境というものもあるので、今後研究していく必要があると思っています。

今日は大変有意義な時間を本当にありがとうございました。

いくことを目指していきたいと思っています。また、基本的に公園は大きい方がいいと思っており、用地を確保して、公園を拡げていく取り組みも必要だと考えています。

公園取得には大きな経費がかかりますが、用地を確保するための国や東京都の補助制度があるので、全体の必要額に対して、区の持ち出し額は少なくなります。公園として取得したら、他の用途で使うこ

## ◇今日のすぎなミーティングを振り返って

○公園に対しては、生活のしかたや世代によって様々な思いがあることと、それを踏まえながら計画されていることを知ることができて良かったです。

○公園区と言う概念を知ることで、地域の特色ある公園に足を運んでみようと思いました。

○ニーズに合わせた公園、役割を持たせて、それぞれの公園で個性を出すという考え方にとっても興味を持ちました。

○ベンチ一つでも公園の代わりになる。防災のために小さな公園（空き地）を残すというご意見も印象的でした。





今回の懇談会は 18 歳から 75 歳までの無作為抽出の区民 2,000 名にご案内し、参加希望者の中から 11 名の方に参加いただきました。



「すぎなミーティング」の様をダイジェスト動画でご覧になれます。



編集後記 区政相談課

開催日は、夏から秋へと移り変わっていく時節でしたが、最高気温が30度を超える真夏日となりました。こうした中、会は和やかなうちに進みました。参加者の皆さんには、最初は緊張されることもあったと思いますが、徐々に打ち解け、さまざまなご意見をいただきました。この報告書は区長の話や参加者の皆さんのご意見等を抜粋して編集させていただきました。いただいたご意見は、今後の取組に生かしてまいります。ありがとうございました。

～令和元年度 第2回すぎなミーティング報告書～

令和2年2月 編集・発行 総務部区政相談課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号

電話3312-2111